

次号予告

特集 エネルギー問題とインフラストラクチャー

- ベクトル場構築によるエネルギー利用量の国家群分析 ……古藤 浩 (東北芸術工科大学)
一次エネルギーの利用率 ……柳井 浩 (慶應義塾大学名誉教授), 高嶋隆太 (千葉工業大学)
需要予測に基づいたアメリカにおける磁気浮上式鉄道の路線案の検討
……………三浦英俊 (明海大学), 鳥海重喜 (中央大学)
EV バッテリー交換ステーションにおける安全在庫モデル ……本間祐大 (早稲田大学)
公民連携-PPP-事業のリスク保証とインフラ投資
……………高森 寛 (LEC 会計大学院), 高嶋隆太 (千葉工業大学), 八木恭子 (秋田県立大学)

編集後記

- ビジネススクールで講義を担当するようになってはや4年が経過した。統計学やデータマイニングなど数理的な内容を伴う講義を主に担当している。統計学はコア科目として位置づけられる選択必修科目である。
- 年に2回、修了生を送り出すパーティがあるのだが、そこでは全く見覚えのない学生さんが結構な人数いることに気づく。どうも数字を扱う科目を巧みに避けて修了したようである。
- これは講義をする我々の責任も痛感する。統計の仕事組を数理的に話すのは簡単だが、それが企業でどのように役立つかを明確に示し実用につなげていくには様々な壁があるように思える。
- 文系育ちの私にとっては、日本の数理的な研究のレ

ベルの高さにはいつも驚かされるが、それらの優れた知の蓄積がビジネスの分野においてはうまく還元できていないように思われ、そこを埋めるのが近年始まった日本におけるビジネススクールの一つの役割であることは間違いないことであろう。

- 企業からの要望に耳を傾け、カリキュラムとして実現し、そして何よりも日本ビジネススクールが進むべき方向性を明確に示す理念やビジョンを描いていくことが個々のビジネススクールに求められている。
- そのような中で、本特集が日本のビジネススクールのあるべき姿を模索する一助になればと切に願うと同時に、私自身も修了パーティにおいてすべての学生さんの顔を認識できることを目指して精進しようと決意するものである。(羽室行信)

オペレーションズ・リサーチ 編集委員会

委員長 牧本直樹 (筑波大学)

関西支部編集委員長 加藤直樹 (京都大学)

関西支部編集委員 乾口雅弘 (大阪大学), 大村雄史 (近畿大学), 甲斐良隆 (関西学院大学), 栗尾 孝 (パナソニック電工(株)), 塩出省吾 (神戸学院大学), 能勢豊一 (大阪工業大学), 羽室行信 (関西学院大学), 松尾博文 (神戸大学), 毛利進太郎 (神戸学院大学)

本誌に掲載された記事についての著作権は、社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

オペレーションズ・リサーチ

平成 22 年 5 月号 第 55 卷 第 5 号 通巻 593 号

代表者 伏見 正 則

発行所 社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

東京都文京区弥生 2-4-16 学会センタービル

電話 03-3815-3351(代) FAX 03-3815-3352 〒113-0032

<http://www.orsj.or.jp/>

編集人 牧本 直 樹

発売所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-4-2 〒151-0051

- 本誌のご注文は直接

日本オペレーションズ・リサーチ学会へ 定価 970円 (本体 924円) 年間予約購読料 11,040円 (税含)

- 本誌への広告お申し込みは明報社 (3546-1337) へ